いきものふれあいの里 陶史の森だより

土岐市ネイチャーセンター
☎㊾5144

<カシラダカ>　興奮すると冠羽(頭部の羽)が立ちます。

スズメ目ホオジロ科のカシラダカは、全長15 cm程でスズメよりも少し大きい小鳥です。冬鳥として主に本州以南に渡来し越冬します。北海道では旅鳥（繁殖地と越冬地の間で一時期生活する鳥)として少数が越冬します。

平地から山地の疎林、林縁、灌木（低い木)のある草地、アシ原などで生息しています。群れで生活をしていることが多く、木や灌木林のある開けた場所を好み、地面の上を跳ね歩きながら草木の種子を採食します。

地鳴きは、「チッ」と細く小さく聞こえます。春先になるとヒバリに似た明るい声で複雑なさえずり方をします。

興奮すると冠羽を立て、頭全体が三角形に高くなる(右の写真)ので「カシラダカ（頭高)」という名前がつきました。冠羽が立っていない時はホオジロとよく似ています。腹が白いとカシラダカ、腹が栗褐色だとホオジロだと識別できます。地味な感じもしますが、とても可愛い小鳥です。

ツグミとともに冬鳥としては飛来数が多いといわれてきましたが、最近はその数は減り、2017 年に絶滅危惧種となりました。今年も陶史の森で数羽を観察することができ、渡来していることが分かり、ホッとしています。

ホオジロなどの小鳥に混じって群れをつくり、生活をしていることが多いので、なかなか分かりにくいのですが、見つけるとうれしくなる鳥です。

カシラダカ

森の日記　今年も元気に過ごしました。

11月22日(金)

陶史の森の動物は、ヒツジ3頭とキジバト2羽、ウサギ10数羽(たくさん生まれて正確には分かりません)が加わり大所帯となりました。おかげをもちまして、みんな元気に新年を迎えられそうです。ありがとうございました。

新しい年が皆様にとりまして、良い年になるように動物たちと共にお祈り申し上げます。

教室のご案内

1月

バードウオッチング(自由参加、雨天中止)

1月26日(日)　午前9時～11時30分

真冬の野鳥を観察します。

2月

バードウオッチング(自由参加、雨天中止)

2月23日(日・祝)　午前9時～11時30分

真冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するベストシーズンです。ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

休園のお知らせ

12月29日(日)～1月3日(金)は、休園します。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。

編集・発行　土岐市役所秘書広報課広報広聴係
〒509-5192　土岐市土岐津町土岐口2101
☎0572-54-1111／FAX0572-55-7750／http://www.city.toki.lg.jp